

## 卒業式 学校長式辞

今年度夏は暑く冬は寒くと、メリハリのある1年間となりました。風はまだ冷たいですが、明るい日差しの中、梅の花に続き桜の花が咲き始めました。本日は、保護者の皆様にご列席いただき、このように卒業式を挙行することができました。ありがとうございます。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取るみなさん一人ひとりがとても堂々としており、3年間の成長を感じ、大変嬉しく思いました。

中学生の時に本校への進学をご希望され、入学された皆さんです。実際に入学されて横浜市中から集まった同じような人たちとともに様々な勉強をしていくことは、ご苦労が多かったのではないかと思います。本校で初めて集団生活を経験して戸惑われたり、お互いに理解しあうことが難しいと感じたりしたこともあったのではないのでしょうか。

学校内での指導は就労を目標としたものだったとはいえ、時にとても厳しく、つらい思いをされたり、自信を失いかけてたりしたこともあったことと思います。見学や実習といった生活の変化に緊張したこともあったのでは？ 希望して入学してきたとはいえ、通学に時間や手間がかかり、負担に感じられた方もいらしたと思います。そのような中、3年間よく努力を重ねて来られました。本当にご苦労さまでした。

さらに今回の卒業式です。昨年度と同様の形とはいえ、1年生の時に卒業式に列席された皆さんにとっては、昨年の卒業式には参加できず、今日は12年生に思いを伝えることができず、とまどいや残念な気持ちがあったのではないかと思います。リハーサルでは歌、言葉など本番さながらに取り組んでいただきましたので、そこに参列していた2年生全員に皆さんの思いが伝わったことと思います。その後も今日のために、さらに磨きをかけてくださいました。皆さんのくじけない気持ち、前向きさに感謝申し上げます。

なお、皆さんお一人だけの努力だけでは成しえないことがありました。本校に入学して、同じ志を持った同年代の友だちに出会い、仲間にまで高めあうことができ、お互いに支えあうことができた、そんな経験を積んだ方が多いことでしょう。また、ご家族の深い愛情に満ちた援助や、先生方の熱心な教えや導きの成果でもあります。そのことも心にしっかり刻んでほしいと思います。

皆さんは今日をもって本校を巣立っていきます。社会の中で生きていくこととなります。本校の教育目標である「働く」「自立」「自己実現」のうち、働くと自立の入り口に立ったことを、卒業証書をお渡しした私が保証します。

この良き日に、皆さんにひとつ言葉をお贈りしたいと思います。平安時代のお坊さんで、最澄という人の言葉です。「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」と言います。特に「一隅を照らす」という言葉がよく知られています。

一隅というのは隅っこということです。そのまま今の言葉にすると、「隅っこを明るくする人は、国の宝である」となります。もう少し意味を補うと、「片隅のあまり人が注目しないようなものごとに、きちんと取り組む人こそ尊い人だ」となります。

人は派手なこと、目立つことに注目しがちです。しかし、注目されない片隅に目を向けていくことだって、目立つことと同じように尊いことです。まず目の前のこと、今自分にできることを一生懸命やり輝く。そうやって一人一人が灯す光によって社会全体が明るくなる。自分が今いる場所や立場でベストを尽くすことが、結果として社会全体を良くすることにつながるということを示す言葉です。

ご卒業された皆さんは、これから就労等に進んでいかれます。これまで学んでこられたように、働くことはお金や生活のためだけではなく、社会に参加すること、社会に貢献することでもあります。働くことでお客様や就労先の方、さらには皆さんのご家族にも喜びを与えることとなり、社会の役に立っているということになります。まずは置かれた場所を小さく照らすことから始めていきましょう。皆さんが日々の学習や行事を通して培ってきた明るさと行動力を今後の生活で発揮し、周りの人たちを励まし、助けてあげてください。

これからの皆さんは学校生活とは異なり、区切りや終わりのない道を進まれますが、よりご自身にとってふさわしい道、「自己実現」に向かっていってください。

とはいえ、卒業後なかなか解決できない問題にぶつかるかもしれません。その時はお一人で悩まずに、ご家族や進路先の先輩方同僚など、まずは身近な人に相談してみてください。少し休息を取ったり、友人との交流や趣味でリフレッシュしたりして、その後再び課題に向き合ってみてください。皆さんなら乗り越えていくことができると思います。どうぞ自信を持ってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お心を砕かれながら、深い愛情を注がれて、ここまで育ててこられた保護者ご家族の皆様のお喜びはいかばかりかと存じます。今日の晴れやかなお子様の姿に感慨ひとしおのことと拝察し、あらためてお祝い申しあげます。これまで本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

令和の時代を踏み出していく卒業生の皆さん、皆さんの前途に幸多かれと祈り、学校長のことばを締めくくりたいと思います。